JAPONisme
ジャポニスム振興会
東京公演

能の来た道、日本のゆく道 巻五

旧暦 重陽の節句
能「菊慈童」

2018年
10月17日（水）
開場18時15分 開演19時
銀座「観世能楽堂」
GINZA SIX B3F

銀座「観世能楽堂」
東京都中央区銀座六丁目10-1 GINZA SIX B3F
TEL03-6274-6579
銀座線・丸ノ内線・日比谷線「銀座駅」A3出口徒歩2分
浅草線・日比谷線「東銀座駅」A1出口徒歩3分

主　　催　ジャポニスム振興会／一般財団法人本願寺文化興隆財団
協力・後援　一般社団法人 東京能楽囃子科協議会
※ジャポニスム振興会＋東京能楽囃子科協議会による能楽普及特別事業として開催します。

山階彌右衛門
やましな やえもん
観世流シテ方

坂井音雅
さかい おとまさ
観世流シテ方

大倉源次郎
おおくら げんじろう
大倉流小鼓方

プログラム

◆能「菊慈童」のお話
会場のみなさまと謡を連吟します
山階彌右衛門（シテ方）

◆お囃子ワークショップ
（お囃子解説と演奏）
お話：大倉源次郎
八反田智子（笛）
大倉源次郎（小鼓）
亀井洋佑（大鼓）
金春國直（太鼓）

―休憩―（20分）

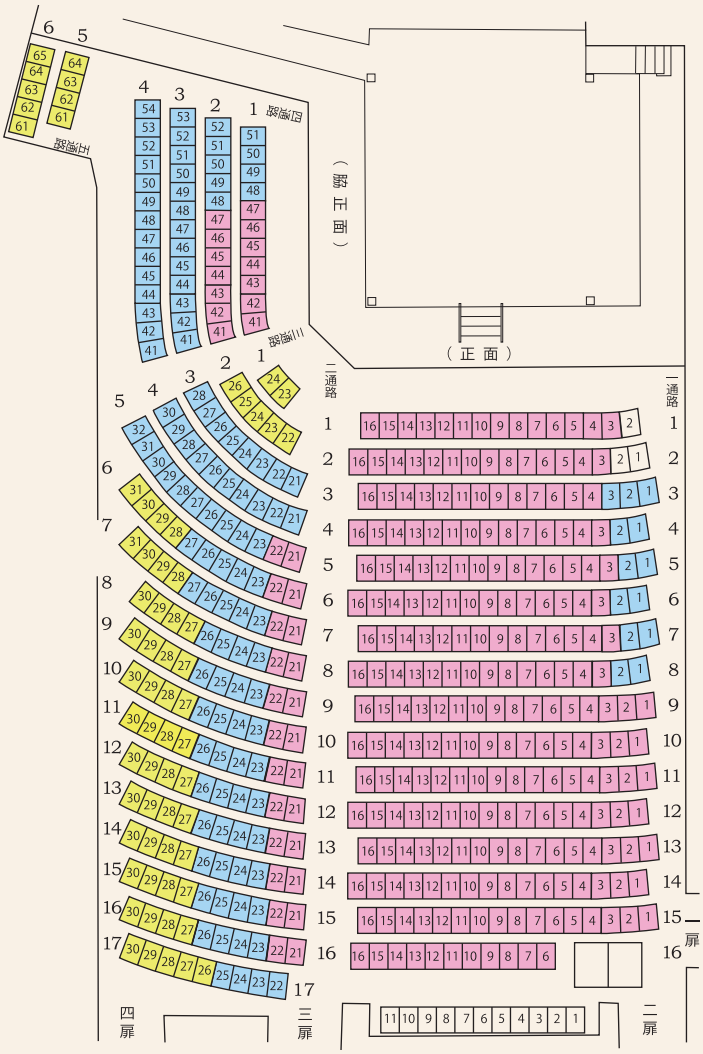
◆観世流 能「菊慈童」

シテ	坂井音雅
ワキ	福王和幸
笛	八反田智子
小鼓	大倉源次郎
大鼓	亀井洋佑
太鼓	金春國直
後見	山階彌右衛門
	坂井音晴
地謡	坂口貴信
	坂井音隆
	武田文志
	武田宗典
	川口晃平
	武田祥照

本公演はジャポニスム振興会の能楽普及事業として五年連続の開催になります。
今回は二〇一八年十月十七日が旧暦九月九日・重陽の節句にあたることから、能「菊慈童」が上演されます。
古来、人々は重陽の節句に菊酒を飲むことで不老長寿を祈りました。
能「菊慈童」をきっかけに、現代における不老長寿、生命、伝統習慣など様々なトピックへと考えをめぐらすことができれば幸いです。

能「菊慈童」あらすじ

『太平記』にも見られる中国の慈童説話に取材した小品。
魏の文帝に仕える勅使（ワキ）が勅令に従い、酈縣山の麓に湧くと言われる薬水の水源を見に行きます。酈縣山に着くと、勅使はある庵に少年の顔をした異様な人物（シテ）がいるのを見つけます。勅使が問いかけてみると、彼はかつて周の穆王に仕えていた慈童だと名乗るのですが、それは七百年も昔のことでした。勅使が驚愕していると、慈童は穆王から賜った枕を見せます。そこには「具一切功徳慈眼視衆生　福聚海無量是故応頂礼」という『法華経』の二句の偈が書かれており、この妙文の効力によって菊の葉に結ばれる露が不老不死の薬水となり、彼はそれを飲んだが故に若さを失うことなく、これまで七百年生きることができたと語ります。彼は、この『法華経』の偈の有り難さと不老不死の薬水の力を讃える《楽》を舞い帝を祝福し、勅使に薬水を授けた後、再び庵の中へ入ってゆきます。
七百年生きながらなお少年のままの姿という不思議の存在である慈童が、菊に飾られた異国風の雰囲気のなか《楽》を舞う場面が見所です。



S 指定席　会員：4,000円　一般：5,000円
A 指定席　会員：3,000円　一般：4,000円
B 指定席　一般：3,000円　学生：2,000円
※会員登録 入会金・年会費無料

チケットのお申し込み

インターネット予約フォーム
http://japonisme.or.jp
FAX 075-525-2095
Mail info@japonisme.or.jp

お申し込みの際は、お名前（ふりがな）・ご住所・電話・メールアドレス、枚数、会員登録の有無を明記の上、送信して下さい。折り返し、確認のご連絡をいたします。電話でのお申し込み、お問い合わせは
フリーコール 0800-222-1284 9時～17時（但し9/12・13は休業）に
ご連絡下さい。
※10月10日(水)までにお申し込み下さい。以降は電話にて承ります
※未就学児童のご入場はご遠慮下さい。

QRコードでサイトにアクセス
申込みはWEBからできます

チケット取り扱い
◆ジャポニスム振興会東京事務所・京都本部（会員、一般、学生）
http://japonisme.or.jp/event/
◆東京能楽囃子科協議会（会員、一般、学生）
http://nohgaku-hayashika.com/
◆観世能楽堂 窓口（会員、一般、学生）

主催　ジャポニスム振興会／一般財団法人 本願寺文化興隆財団
〒607-8461 京都市山科区上花山旭山町8-1 フリーコール 0800-222-1284